

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●川田将雅騎手がJRA年間100勝を達成

7月18日(土)の4回阪神5日・第4レースではダノンレガーロが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、2年連続6回目となるJRA年間100勝を達成しました。7月18日での年間100勝到達は自身最速の記録で、本年の年間100勝はC.ルメール騎手に続き2人目のこととなります。

●石橋脩騎手がJRA通算700勝を達成

7月19日(日)の2回福島6日・第12レースではファイアランスが1着となり、同馬に騎乗した石橋脩騎手(美浦・フリー)は、史上65人目、現役では31人目となるJRA通算700勝(1万864戦目)を達成しました。

●夏の福島および函館のリーディングジョッキー決定

7月19日(日)をもって2回福島競馬が終了し、この開催で8勝をあげた田辺裕信騎手(美浦・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。同日、今年の函館競馬も終了し、1回函館で8勝、2回函館で6勝、計14勝をあげた横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)が、自身初となる開催リーディングジョッキーとなりました。なお横山武史騎手には、北海道競馬記者クラブから「北海道競馬記者クラブ賞」が贈られています。

●ピワハヤヒデが死亡

7月21日(火)、ピワハヤヒデ(牡30歳)が老衰のため死亡しました。同馬は1993年に菊花賞を制し、JRA賞年度代表馬および最優秀3歳牡馬に輝き、翌1994年には天皇賞(春)と宝塚記念を勝利し、JRA賞最優秀4歳以上牡馬を受賞。JRA通算16戦10勝の成績を残して引退し、北海道日高町の有限会社日西牧場で種牡馬として供用され、種牡馬引退後は同所で余生を送っていました。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は今年1月1日から7月5日までに実施された世界の主要レースが対象で、今年最初の中間発表となります。エクリプスSを勝ったガイヤース(127)、ゴールドC圧勝のストラディバリウス(125)に続き、ヴィクトリアマイルを完勝したアーモンドアイが、TJスミスS勝ち馬のネイチャーストリップと並んで第3位タイ(124)にランクイン。日本ダービーを勝ったコントレイルは3歳牡馬トップとなる第7位タイ(122)、宝塚記念のクロノジェネシスと金鯱賞のサートゥルナーリアは第14位タイ(120)と、日本調教馬は計4頭の掲載となりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●マスターフェンサーがマーキュリーC(盛岡)で重賞初制覇

マーキュリーC(JpnⅢ、7月21日、盛岡、2000^米)は、4番手前後から差を詰めたマスターフェンサー(川田将雅騎手、牡4歳、父ジャスタウェイ)が、先に抜け出した3番人気のデルマルーヴルを残り100^米を切った辺りで捉え、単勝1.9倍の支持に応えました。ランガディア(岩手)が3着に入り、2番人気のヒストリーメイカーは4着、アポロテネシーは5着、ヨシオは6着でした。

●オパールC(盛岡)はエイシンハルニレ【各地の主要3歳重賞】

走路状態悪化のため、芝(1700^米)からダート(1600^米)に変更されたオパールC(7月12日、盛岡)は、2番手から3コーナー過ぎに先頭に立った地元岩手の1番人気馬エイシンハルニレ(牡、父エイシンアポロン)がそのまま押し切り、愛知在籍時の新緑賞に次ぐ2度目の重賞制覇を果たしています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドが盛岡で開幕

2020ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドは7月21日に盛岡で開催し、第1戦、第2戦を原優介騎手(美浦)が連勝しました。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1愛オークス~イーヴンソーが差し切る

7月18日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛オークス(3歳牝、芝2400^米)は中団でレースを進めたイーヴンソー(父キャメロット)が古馬相手のG1プリティボリーSで2着に入っていたカイエンペッパーを差し切って優勝。G1初制覇をクラシックで飾りました。イーヴンソーは今季2戦目となった6月のG1愛1000ギニー5着の後、前走7月4日のネースオークストライアル(リステッド、芝2000^米)を逃げ切って、ここに臨んでいました。鞍上のC.キーン騎手と管理するG.ライオンズ調教師は、シスキで制した今年のG1愛2000ギニーに続くG1制覇です。

●香港年度代表馬はエグザルタント

香港の年度代表表彰であるチャンピオンアワーズが7月16日に発表され、年度代表馬にはエグザルタント(騾6歳、父テオフィロ、A.クルーズ厩舎)が選出されました。2019/20年のエグザルタントはクイーンエリザベスII世C(芝2000^米)、チャンピオンズ&チャターC(芝2400^米)とG1を2勝。同時に最優秀中距離馬、最優秀ステイヤーにも輝きました。なお、ファン投票で決まる最優秀外国調教馬には日本のアーモンドアイが選ばれています。